

2012年3月 原発とエネルギーに関する意識調査 単純集計表

調査の概要

調査時期	2012年3月16日(金)～18日(日)
調査相手	全国20歳以上の男女2,603人
調査方法	電話法(RDD追跡法)
調査回答数(回答率)	1,585人(60.9%)

N= 1585

Q1

あなたは、エネルギーの問題について、どの程度関心がありますか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 非常に関心がある	33.8 %
2. ある程度関心がある	54.9 %
3. あまり関心がない	8.7 %
4. まったく関心がない	1.4 %
5. わからない、無回答	1.3 %

Q2

あなたは、今後、国内の原子力発電所をどうすべきだと思いますか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 増やすべきだ	1.7 %
2. 現状を維持すべきだ	21.3 %
3. 減らすべきだ	42.8 %
4. すべて廃止すべきだ	28.4 %
5. その他	0.7 %
6. わからない、無回答	5.1 %

Q3

あなたは、定期検査や地震のために運転を停止している全国の原発が運転を再開することについて、賛成ですか。反対ですか。それともどちらともいえませんか。

1. 賛成	17.2 %
2. 反対	37.3 %
3. どちらともいえない	43.2 %
4. わからない、無回答	2.3 %

Q4

あなたは、原子力発電所で、その周辺の住民に影響を及ぼすような事故が起きるかもしれないという不安を感じていますか。感じていませんか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 大いに感じている	49.7 %
2. ある程度感じている	40.9 %
3. あまり感じていない	6.9 %
4. まったく感じていない	0.9 %
5. わからない、無回答	1.6 %

Q5

あなたは、国の原子力発電所に関する安全管理を、どの程度信頼していますか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

- | | | |
|----------------|-------|--------|
| 1. 大いに信頼している | | 1.7 % |
| 2. ある程度信頼している | | 25.0 % |
| 3. あまり信頼していない | | 49.1 % |
| 4. まったく信頼していない | | 22.4 % |
| 5. わからない、無回答 | | 1.8 % |

Q6

あなたは、原子力発電は、今後安全基準や対策を強化すれば、安全なものにできると思いますか。それともできないと思いますか。
次に読み上げる4つの中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでお答えください。

- | | | |
|----------------|-------|--------|
| 1. 十分できると思う | | 7.7 % |
| 2. ある程度はできると思う | | 37.0 % |
| 3. あまりできないと思う | | 35.9 % |
| 4. まったくできないと思う | | 16.5 % |
| 5. わからない、無回答 | | 3.0 % |

Q7

ところで、発電に関して、次に読み上げる4つの事柄のうち、どれが最も重要だと思いますか。

- | | | |
|-------------------------|-------|--------|
| 1. 事故の可能性が少ないこと | | 31.6 % |
| 2. 電力を安定的に十分供給すること | | 19.8 % |
| 3. 発電経費が安く、電気料金が安いこと | | 16.1 % |
| 4. 温暖化防止など、環境に配慮されていること | | 26.4 % |
| 5. その他 | | 1.3 % |
| 6. わからない、無回答 | | 4.9 % |

Q8

あなたは、今後発電に使うエネルギー源は、何を最も増やすべきだと思いますか。
次に読み上げる6つの中から、1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------------------|-------|--------|
| 1. 石油 | | 1.3 % |
| 2. 石炭 | | 0.8 % |
| 3. 天然ガス | | 8.3 % |
| 4. 水力 | | 7.5 % |
| 5. 原子力 | | 5.0 % |
| 6. 太陽光や風力などの自然エネルギー | | 69.3 % |
| 7. その他(具体的に) | | 2.1 % |
| 8. わからない、無回答 | | 5.6 % |

Q9

「電気料金が上がるなら、原子力発電を減らすべきではない」という意見があります。
あなたは、そう思いますか。そうは思いませんか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

- | | | |
|---------------|-------|--------|
| 1. 大いにそう思う | | 8.8 % |
| 2. ある程度そう思う | | 31.2 % |
| 3. あまりそう思わない | | 32.6 % |
| 4. まったくそう思わない | | 21.2 % |
| 5. わからない、無回答 | | 6.2 % |

Q10

あなたは、今、自分が使う電気の量を減らすようにしていますか。していませんか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 大いにしている	22.1 %
2. ある程度している	65.4 %
3. あまりしていない	9.4 %
4. まったくしていない	1.5 %
5. 無回答	1.6 %

Q11

あなたは、今より不便になっても、電気の使用量を減らす生活に変えるべきだ
という考え方に賛成ですか。反対ですか。それともどちらともいえませんか。

1. 賛成	48.6 %
2. 反対	10.5 %
3. どちらともいえない	37.7 %
4. わからない、無回答	3.2 %

Q12

あなたは、原子力発電は、今の社会や人びとの生活に役立っていると思いますか。
それとも、役には立っていないと思いますか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 大いに役立っている	22.1 %
2. ある程度役立っている	56.0 %
3. あまり役に立っていない	11.9 %
4. まったく役に立っていない	3.8 %
5. わからない、無回答	6.2 %

Q13

あなたは、国が公表する原発に関する情報を、信用していますか。信用していませんか。
次に読み上げる4つの中から、1つ選んでお答えください。

1. 大いに信用している	1.5 %
2. ある程度信用している	26.4 %
3. あまり信用していない	48.5 %
4. まったく信用していない	20.8 %
5. わからない、無回答	2.9 %

Q14

あなたがお住まいの地域を管轄する電力会社は、どちらの電力会社ですか。

1. 北海道電力	4.5 %
2. 東北電力	9.8 %
3. 東京電力	31.5 %
4. 北陸電力	1.3 %
5. 中部電力	12.2 %
6. 関西電力	17.4 %
7. 中国電力	6.2 %
8. 四国電力	3.5 %
9. 九州電力	11.9 %
10. 沖縄電力	0.8 %
11. わからない、無回答	0.7 %

性別

1. 男性	44.4 %
2. 女性	55.6 %

年代

あなたの年齢は何歳代でしょうか。次の中からお答えください。

1. 20代	4.3 %
2. 30代	10.2 %
3. 40代	16.3 %
4. 50代	14.1 %
5. 60代	25.3 %
6. 70歳以上	27.6 %
7. 無回答	2.3 %

職業

あなたのお仕事は何でしょうか。次の5つの中から1つお答えください。

1. 専業主婦やパートをしている主婦	23.2 %
2. 勤めている	29.5 %
3. 無職	29.7 %
4. 農林業や漁業	4.0 %
5. 自営業	10.2 %
6. 学生、その他、無回答	3.5 %

性・年齢(10歳刻み)

1. 男性20代	2.0 %
2. 男性30代	4.8 %
3. 男性40代	7.6 %
4. 男性50代	6.4 %
5. 男性60代	11.3 %
6. 男性70歳以上	11.5 %
7. 女性20代	2.3 %
8. 女性30代	5.4 %
9. 女性40代	8.7 %
10. 女性50代	7.6 %
11. 女性60代	14.0 %
12. 女性70歳以上	16.0 %
13. 無回答	2.3 %

性・年齢(20歳刻み)

1. 男性20～39歳	6.8 %
2. 男性40～59歳	14.0 %
3. 男性60歳以上	22.8 %
4. 女性20～39歳	7.7 %
5. 女性40～59歳	16.3 %
6. 女性60歳以上	30.0 %
7. 無回答	2.3 %

都市規模

1. 特別区と100万以上の市	21.1	%
2. 人口30万以上の市	22.0	%
3. 人口10万～30万未満の市	22.9	%
4. 人口5万～10万未満市町村	15.5	%
5. 人口5万未満市町村	15.5	%
6. 無回答	3.1	%

地域A

1. 北海道	4.5	%
2. 東北	8.0	%
3. 関東	30.1	%
4. 甲信越	4.2	%
5. 東海・北陸	13.2	%
6. 近畿	17.3	%
7. 中国	6.0	%
8. 四国	4.0	%
9. 九州沖縄	12.7	%

地域B

1. 北海道・東北	12.5	%
2. 関東甲信越	34.3	%
3. 東海・北陸	13.2	%
4. 近畿	17.3	%
5. 中国・四国・九州沖縄	22.6	%